

# 2006年度(平成19年3月期) 第1四半期 決算説明会

2006年 8月 7日

株式会社 日本航空

# 目次



## 2006年度第1四半期決算

### 2006年度第1四半期決算

連結決算の概要	P4
セグメント別営業収益・営業利益	P5
航空運送事業セグメント	P6
収入分析 - 国際旅客	P7
国際旅客事業	P8
収入分析 - 国内旅客	P10
国内旅客事業	P11
収入分析 - 国際貨物	P13
営業費用の増減(航空運送事業セグメント)	P14
燃油費と為替(航空運送事業セグメント)	P15
夏休み需要状況	P16
2006年度業績予想(06.May.10発表)	P17

### 新株式発行について

新株式発行の概要	P19
機材更新計画(国際旅客)	P20
機材ダウンサイジング効果	P21
財務体質の改善	P22
(補足資料)	
国際旅客方面別需要・供給(前年比)	P24
費用構造改革の進捗状況	P25
最近のトピックス	P26

# ハイライト



- 前年度第一四半期に比べ3.7%増収。  
営業利益はほぼ同水準も、当期利益は115億円改善。
- 国際線は供給量削減するなかでの増収。  
ダウンサイジング・路線リストラの効果によりロードファクターは69.9%と対前年4.6pntと大幅改善し、イールドも11.2%向上。
- 国内線も対前年比増収で、4月から他社とのロードファクター格差は回復基調にある。クラスJも好調。

---

# 2006年度 第1四半期決算



# 連結決算の概要

(単位: 億円)

	05年度 4-6月	06年度 4-6月	前年度差	前年度比
<b>営業収益</b>	5,033	5,222	188	+3.7%
(営業費用)	5,354	5,541	187	+3.5%
<b>営業損益</b>	-320	-319	1	-
<b>経常損益</b>	-374	-355	18	-
<b>当期損益</b>	-383	-267	115	-



# セグメント別営業収益・損益

(単位:億円)

	営業収益			営業損益	
	06年度 4-6月	前年度差	前年度比	06年度 4-6月	前年度差
航空運送事業	4,099	126	+3.2%	-330	15
航空運送関連事業	863	102	+13.4%	5	-9
旅行企画販売事業	853	-118	-12.2%	-20	-13
カード・リース事業	156	6	+4.5%	13	3
その他事業	497	19	+4.1%	10	1
計	6,471	136	+2.2%	-320	-2
消去または全社	-1,249	51	-	1	3
連結	5,222	188	+3.7%	-319	1



# 航空運送事業セグメント

(単位: 億円)

		05年度 4-6月	06年度 4-6月	前年度差	前年度比
国際	旅客	1,596	1,678	82	+5.2%
	貨物	411	438	26	+6.6%
国内	旅客	1,503	1,509	6	+0.4%
	貨物	71	68	-2	-3.8%
その他		171	188	16	+9.8%
付帯事業		219	216	-3	-1.6%
セグメント合計		3,973	4,099	126	3.2%

> 上表は消去または全社分調整前の数値

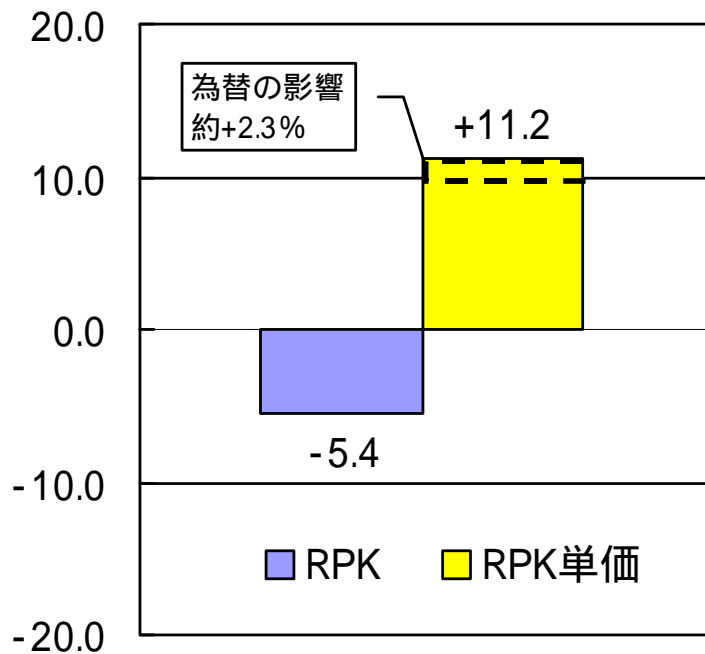


# 収入分析 - 国際旅客

## < 収入 >

06年度4-6月 1,678億円 (対前年 + 5.2%)

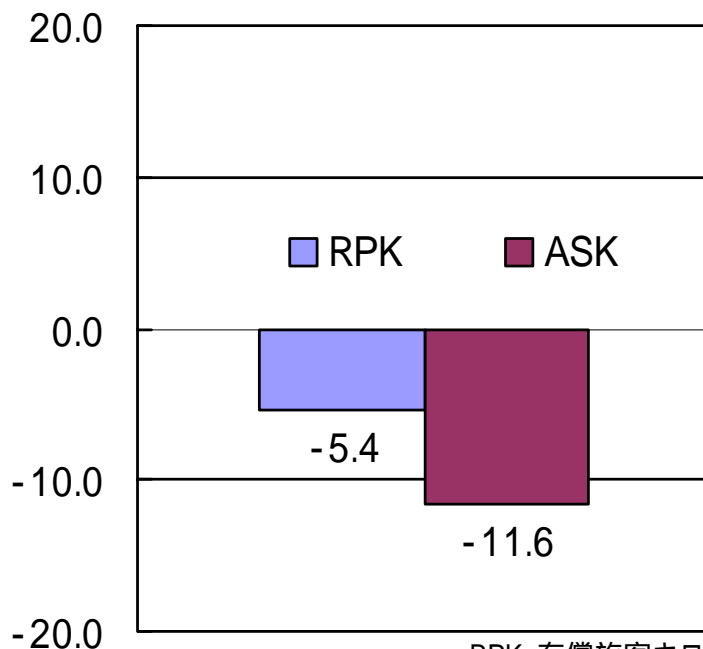
対前年度比 (%)



## < 利用率 >

06年度4-6月 69.9% (対前年+4.6%)

対前年度比 (%)



RPK: 有償旅客キ口  
 ASK: 有効座席キ口  
 利用率: RPK ÷ ASK

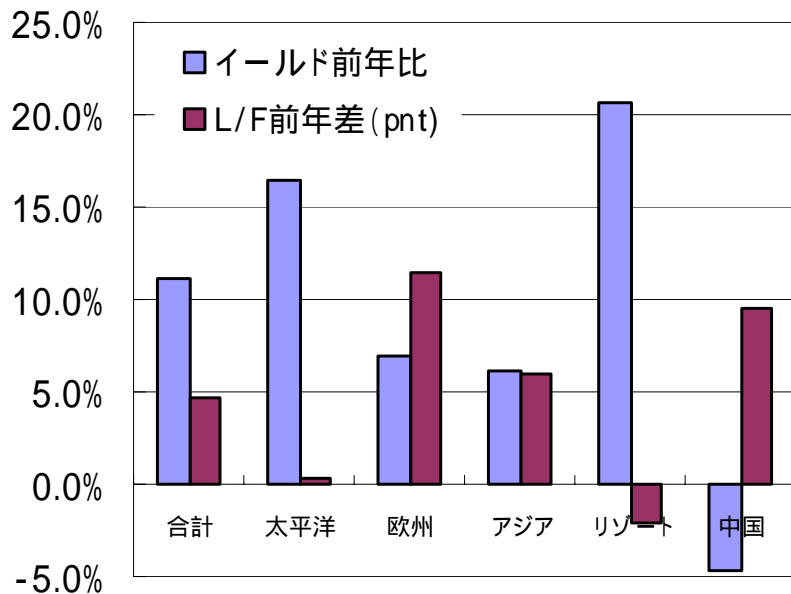




# 国際旅客事業

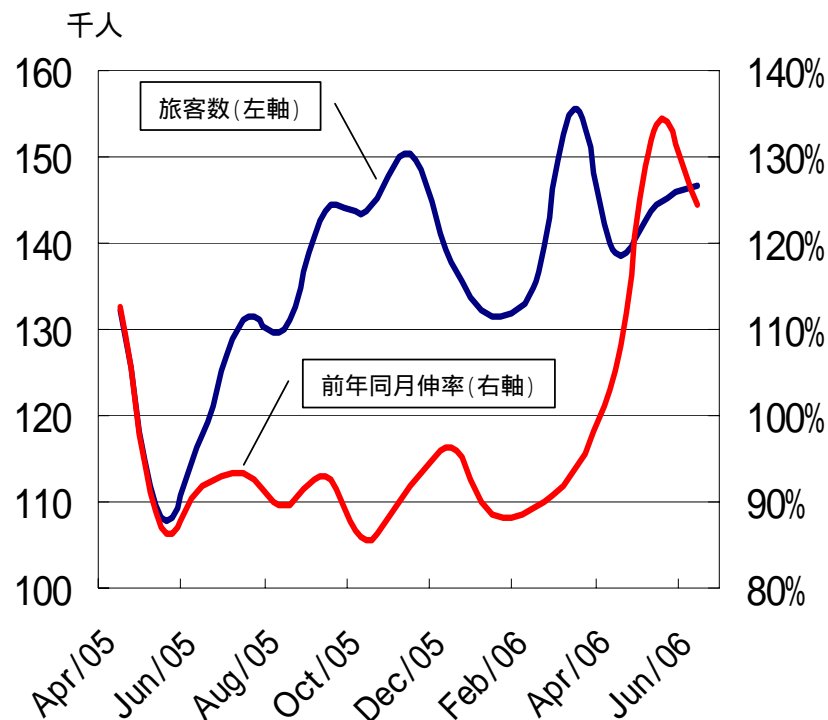
## 方面別イールドアップとロードファクター改善

➤ 各方面でイールドのアップとL/Fの改善が見られる



## 中国線の需要回復

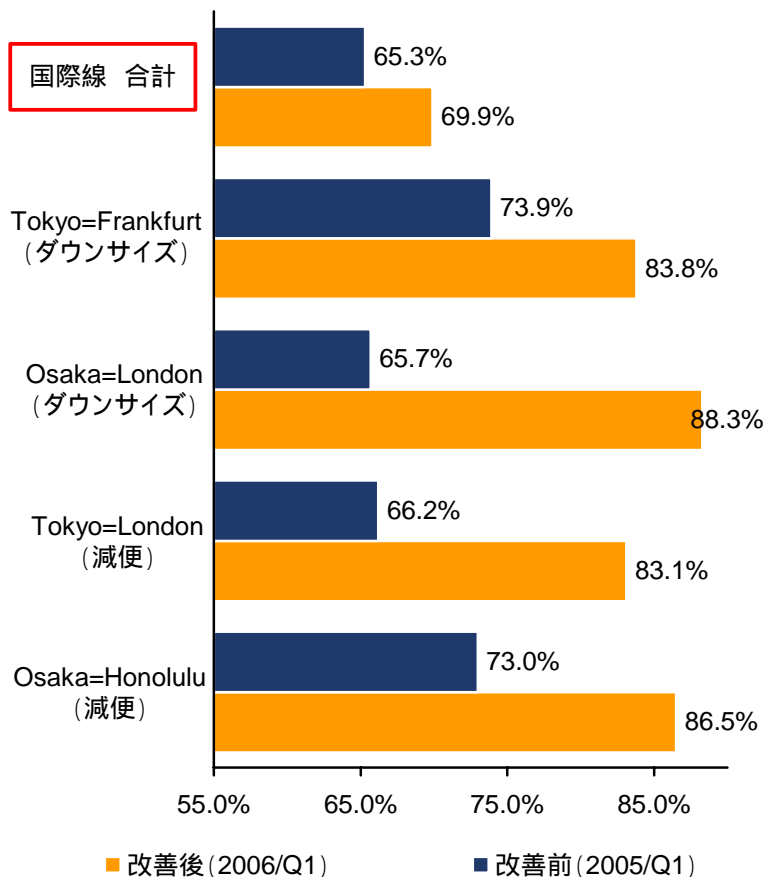
➤ 中国線での旅客需要回復はより一層鮮明に





# 国際旅客事業

## ダウンサイジングと路線リストラによるL/F改善



## 主な国際路線リストラ例

### 運休路線

- 2005/10月 ~ 福岡 = ホノルル
- 2005/10月 ~ 福岡 = 香港
- 2005/10月 ~ 東京 = サイパン
- 2005/10月 ~ 大阪 = サイパン
- 2005/10月 ~ 名古屋 = グアム
- 2005/10月 ~ 福岡 = ソウル
- 2006/3月 ~ 小松 = ソウル
- 2006/3月 ~ 広島 = ソウル

### 減便

- 2005/10月 ~ 大阪 = ホノルル (週14便 7便)
- 2006/3月 ~ 東京 = ロンドン (週14便 7便)
- 2006/3月 ~ 東京 = バンコク (週21便 14便)
- 2006/3月 ~ 大阪 = デンパサール (週7便 3便)\*

### 追加運休路線

- 2006/10月 ~ 大阪 = ロサンゼルス
- 2006/10月 ~ 東京 = ラス・ベガス = ロサンゼルス

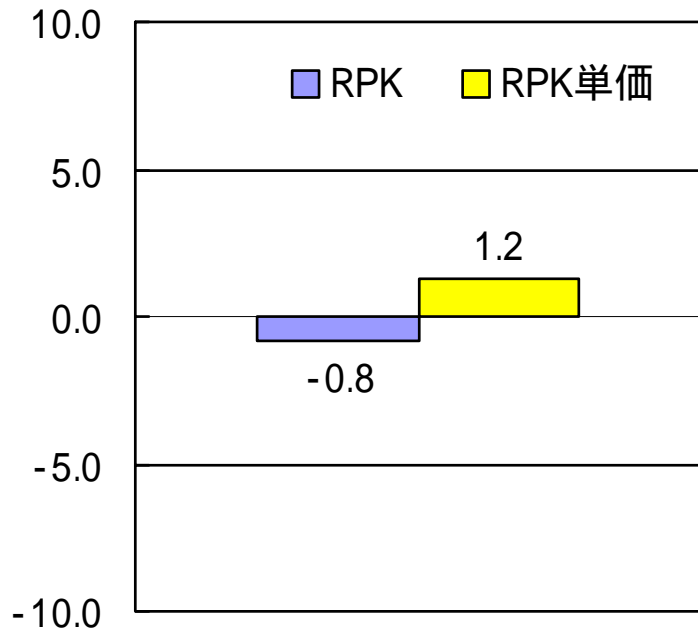


# 収入分析 - 国内旅客

## < 収 入 >

06年度4-6月 1,509億円 (対前年 + 0.4%)

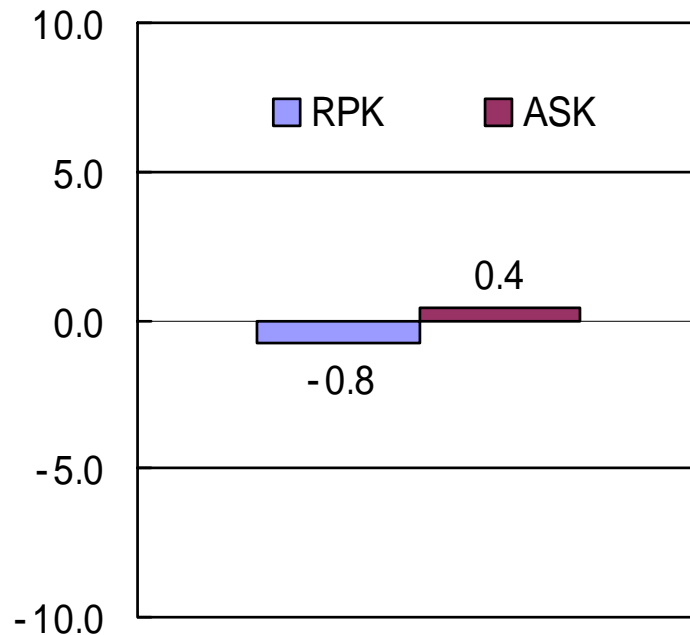
対前年度比 (%)



## < 利用率 >

06年度4-6月 60.4% (対前年 - 0.8%)

対前年度比 (%)



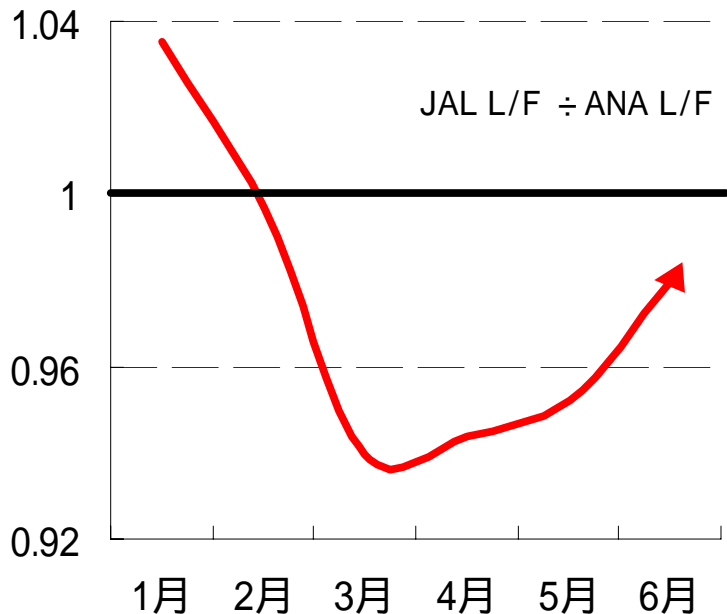
RPK: 有償旅客キ口  
ASK: 有効座席キ口



# 国内旅客事業

## ロードファクター比較

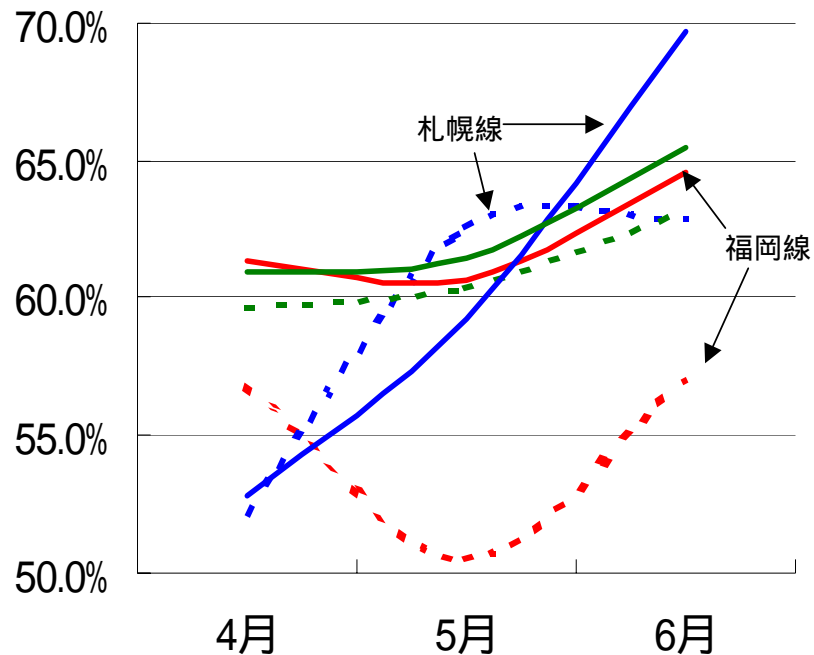
▶ 競合他社とのL/F差は縮まってきている



	1月	2月	3月	4月	5月	6月
JAL L/F	58.5%	63.5%	66.8%	58.8%	61.4%	61.1%
ANA L/F	56.5%	63.7%	71.1%	62.3%	64.5%	62.4%
差異(pnt)	2.0	-0.2	-4.3	-3.5	-3.1	-1.3

## 幹線ロードファクター

▶ 羽田-福岡・札幌線など幹線のL/Fは上昇傾向



点線: 2005年度 実線: 2006年度  
青: 羽田-札幌 赤: 羽田-福岡 緑: 幹線計

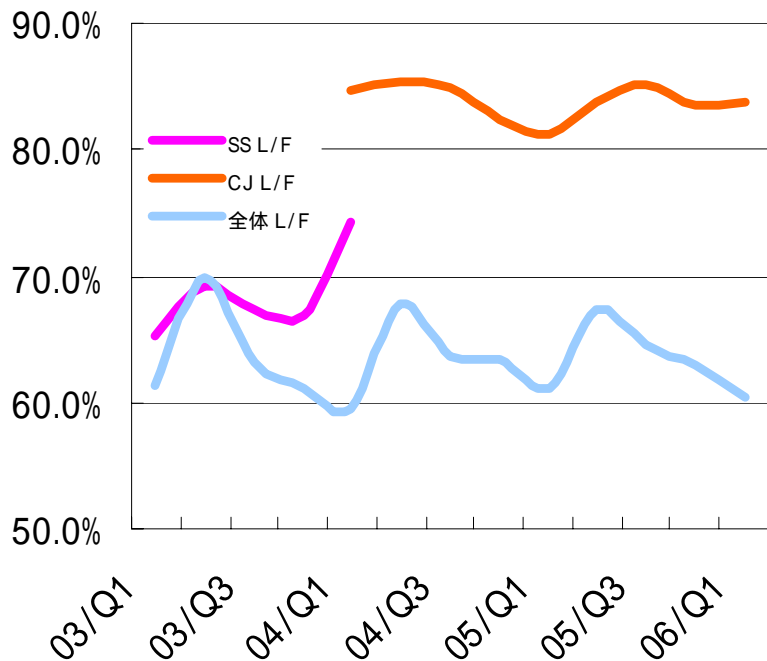


# 国内旅客事業

## 好調なクラスJの利用状況

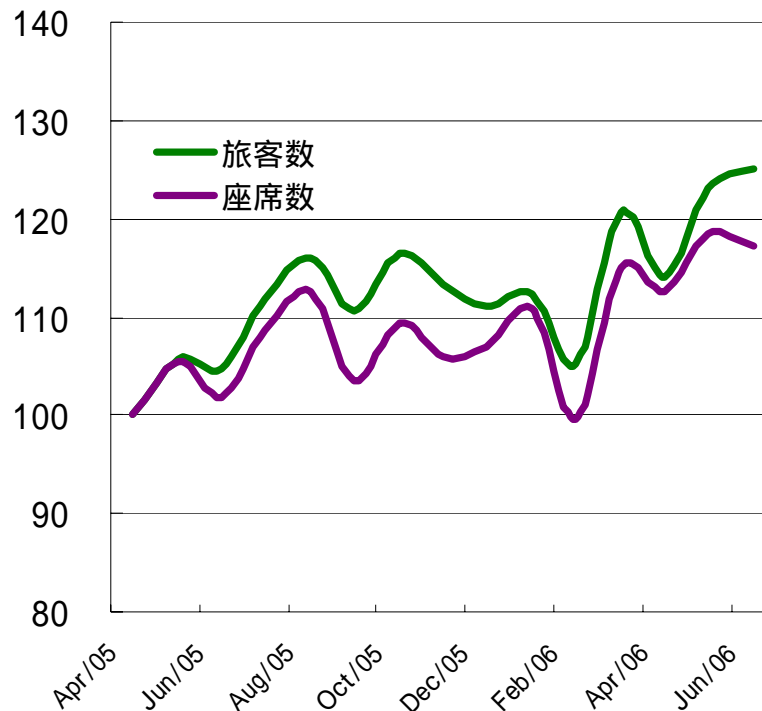
➤開設以来、高L/Fを維持し続ける

\*SS:スーパーシート CJ:クラスJ



➤増設する席数を常に上回る旅客数

\*2005/4月を100とするクラスJの旅客数と座席数



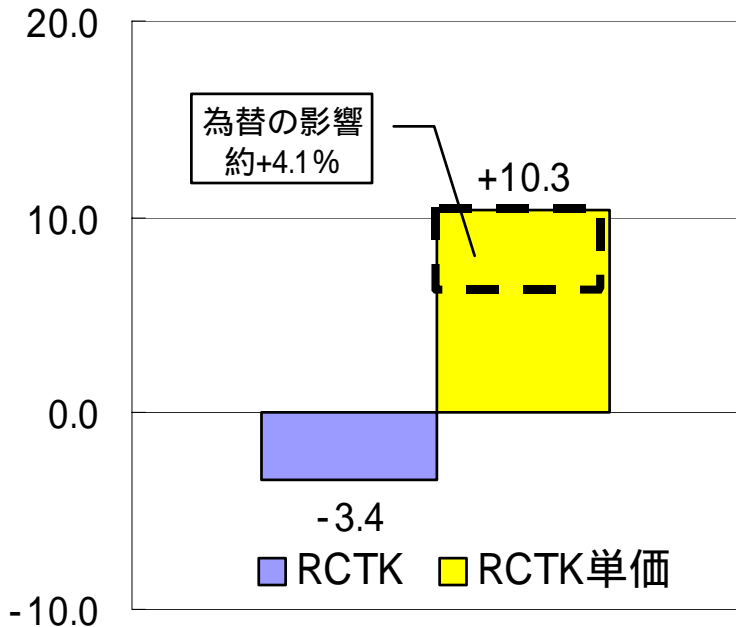


# 収入分析 - 国際貨物

## < 収 入 >

06年度4-6月 438億円 (対前年 + 6.6%)

対前年度比(%)

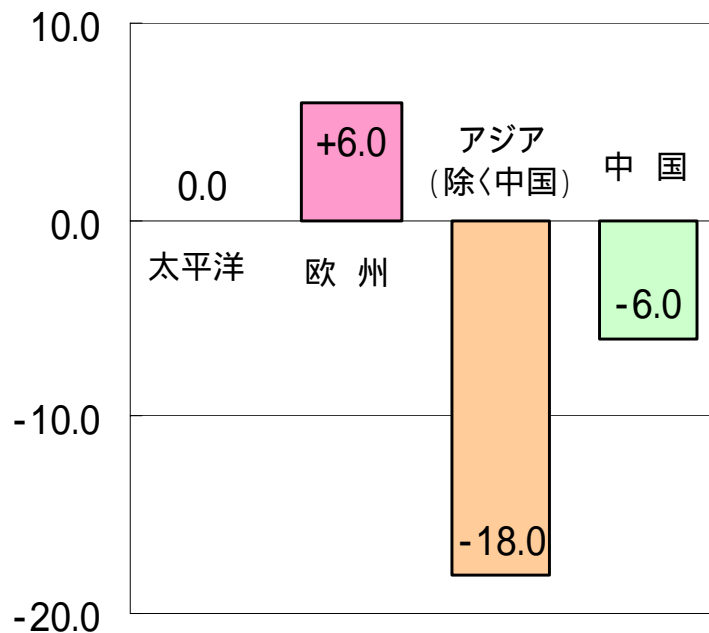


RCTK: 有償貨物トンキロ

## < 搭載重量 >

06年度4-6月 178,529トﾝ (対前年 4.9%)

対前年度比(%)





# 営業費用の増減(航空運送事業セグメント)

(単位:億円)

	05年度 4-6月	06年度 4-6月	前年度差	前年度比
燃油費	873	974	101	+11.6%
運航施設利用費	335	324	-10	-3.2%
整備費	289	363	73	+25.5%
貨客サービス費	121	120	0	-0.8%
販売手数料	302*	291	-11	-3.8%
航空機材減価償却費	192	183	-8	-4.4%
航空機材賃借料	255	266	10	+4.1%
人件費	799	783	-15	-1.9%
その他	1,149*	1,121	-28	-2.4%
合計	4,319	4,430	110	+2.6%

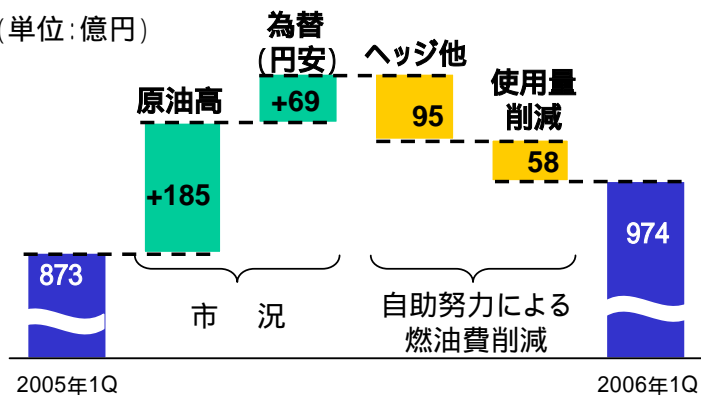
\*本年度消去法の変更に伴い、前年度データを変更しています



# 燃油費と為替 (航空運送事業セグメント)

## < 燃油費 >

(単位: 億円)



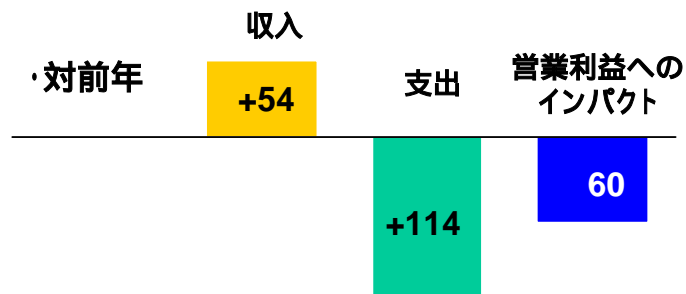
## 燃油ヘッジの状況 (2006年8月現在)

	05年度	06年度	07年度
ヘッジ比率	-	75%	35%
中計前提	-	\$75	\$75
市況平均	\$66.7	\$82.0	-

\$1/bblの上昇 = 45億円営業利益悪化 (ヘッジ無しで)

## < 為 替 >

(単位: 億円)



## 期中平均為替レート

	05年度 4-6月	06年度 4-6月	中計期間 前提
USD*	¥106.7	¥115.0	¥120.0

\*JAL社内月次レート平均値





# 夏休み需要状況

\*夏休み対象期間:8/11-8/20

## ・国際線 (JAL, JAA, JAZ各社日本発着合計)

提供座席数		予約数		予約率
	前年比		前年比	
557,374席	91.2%	470,781人	101.3%	84.5%

	提供座席数	前年比(%)	総旅客数(人)	前年比(%)	予約率(%)
ホノルル線	62,915	80.5%	59,919	92.2%	95.2%
米大陸線	62,315	110.5%	59,899	122.9%	96.1%
欧州線	52,747	82.5%	47,025	92.2%	89.2%
東南アジア線	125,548	92.2%	104,783	104.7%	83.5%
オセアニア線	26,526	95.6%	23,554	95.8%	88.8%
グアム線	13,586	37.8%	12,858	41.7%	94.6%
韓国線	67,074	92.9%	61,932	104.1%	92.3%
中国線	89,447	100.6%	58,030	130.0%	64.9%

## ・国内線 (JAL, JTA, JEX, J-AIR, RAC, JAC, HAC各社上下線合計)

提供座席数		予約数		予約率
	前年比		前年比	
2,032,975席	100.1%	1,467,620人	103.5%	72.2%

	提供座席数	前年比(%)	総旅客数(人)	前年比(%)	予約率(%)
北海道方面	465,066	91.9%	349,579	96.9%	75.2%
東北・北陸方面	210,222	95.7%	148,497	98.8%	70.6%
関西方面	185,768	102.7%	123,591	106.1%	66.5%
中国・四国方面	195,952	107.9%	142,982	113.1%	73.0%
九州方面	514,216	103.6%	365,527	108.7%	71.1%
沖縄方面	235,332	103.7%	191,607	105.4%	81.4%



# 2006年度業績予想 (06.May.10発表)

(単位: 億円)

	05年度	06年度	前年度差	前年度比
<b>営業収益</b>	21,993	23,010	1,017	4.6%
(内国際旅客)	6,902	7,250	348	5.0%
(内国内旅客)	6,599	7,030	431	6.5%
(内国際貨物)	1,805	1,980	175	9.7%
(その他)	6,685	6,750	65	1.0%
<b>営業損益</b>	268	170	438	-
<b>経常損益</b>	416	5	421	-
<b>当期損益</b>	472	30	502	-

---

# ・ 新株式発行について



# 新株式発行の概要

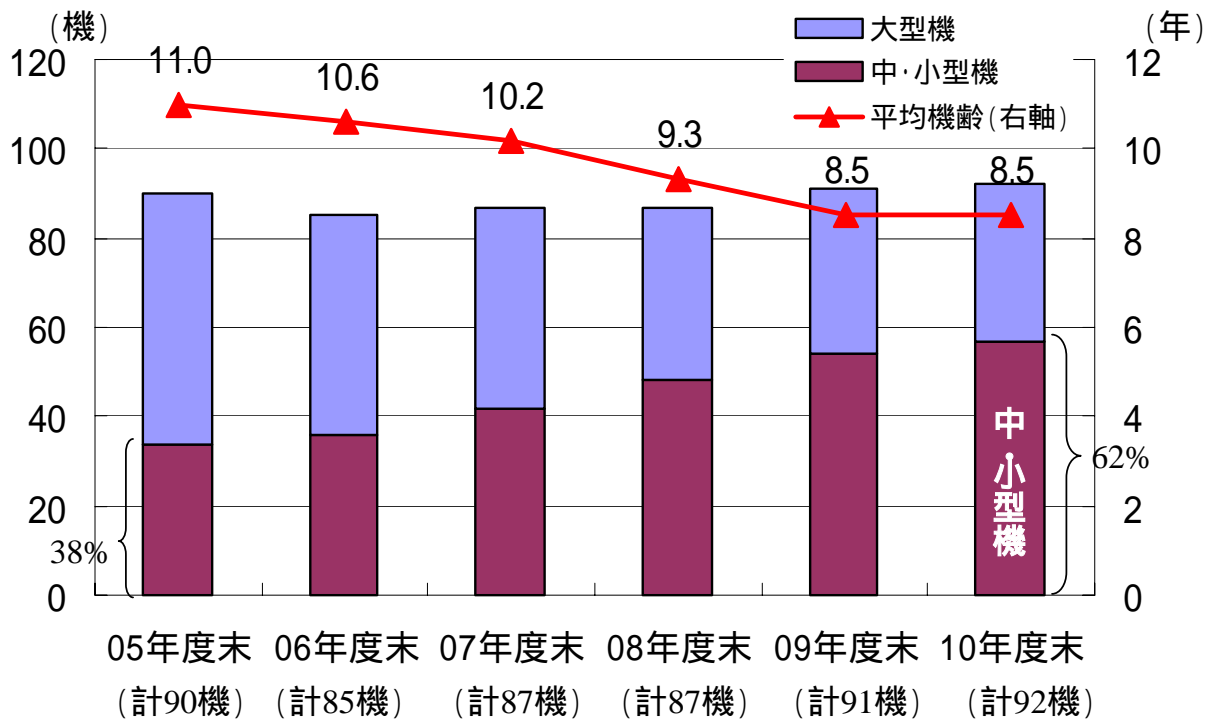
- 発行株式数 : 最大750百万株(グリーンシュエオプション行使後)  
参考:2006.05末発行済株式数 約1,982百万株
- 内外販売数 : 国内:最大320百万株 海外:430百万株
- 払込金総額 : 最大1,485億円(¥198.00/株)
- 調達資金使途 : 全額航空機(関連部品含む)の購入に充当
- その他 : 第三者割当(グリーンシュエ)発行数確定は8/23
- : 機材導入計画

06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	5年間計
9機	18機	19機	21機	19機	86機

主な導入機材:B777、B787、B737-800などの中・小型機

# 機材更新計画 (国際旅客)

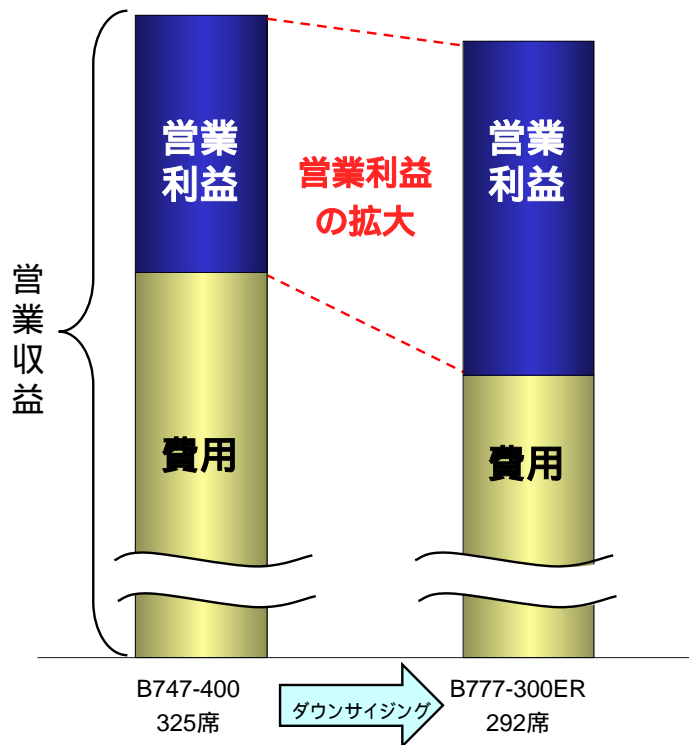
機材更新により中・小型機の比率が大幅にアップ



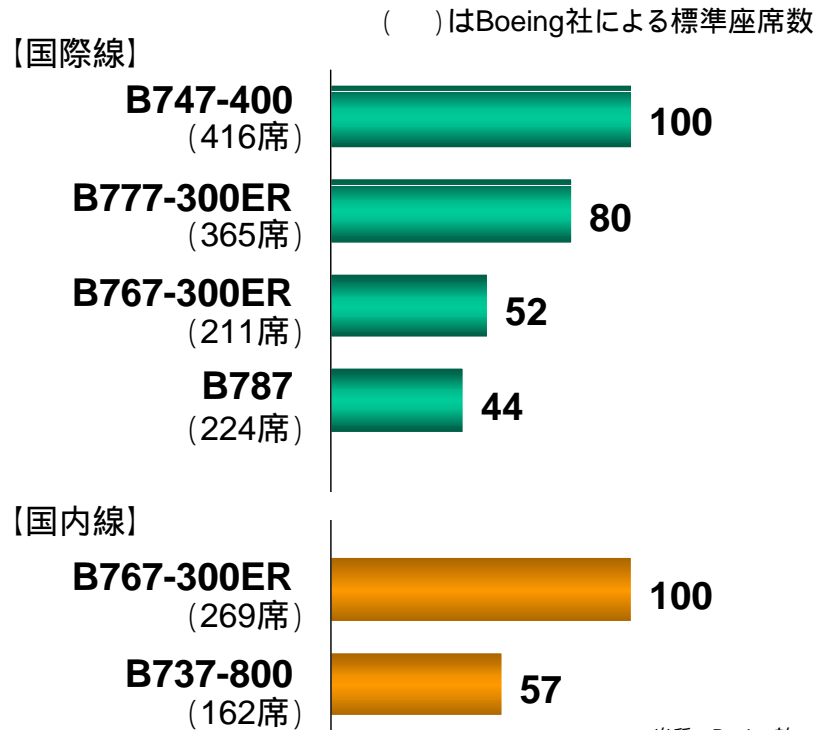
# 機材ダウンサイジングの効果



## 営業利益の拡大イメージ



## 燃料効率化のイメージ



<sup>1</sup> 国際線は運航距離4,000nm時のB747-400の燃油消費量を100とし、国内線は運航距離1,000nm時のB767-300ERの燃油消費量を100とした値。

# 財務体質の改善

## 増資後の財務指標

	06年3月期	増資後*
総資産	21,612	23,097
自己資本	1,481	2,966
有利子負債(オンバランス)	12,364	12,364
有利子負債(リース債務込)	16,566	16,566
自己資本比率	6.9%	12.8%
D/Eレシオ(オンバランス)	8.4倍	4.2倍
D/Eレシオ(リース債務込)	11.2倍	5.6倍

\*グリーンシュュー行使後 1,485億円を調達した場合

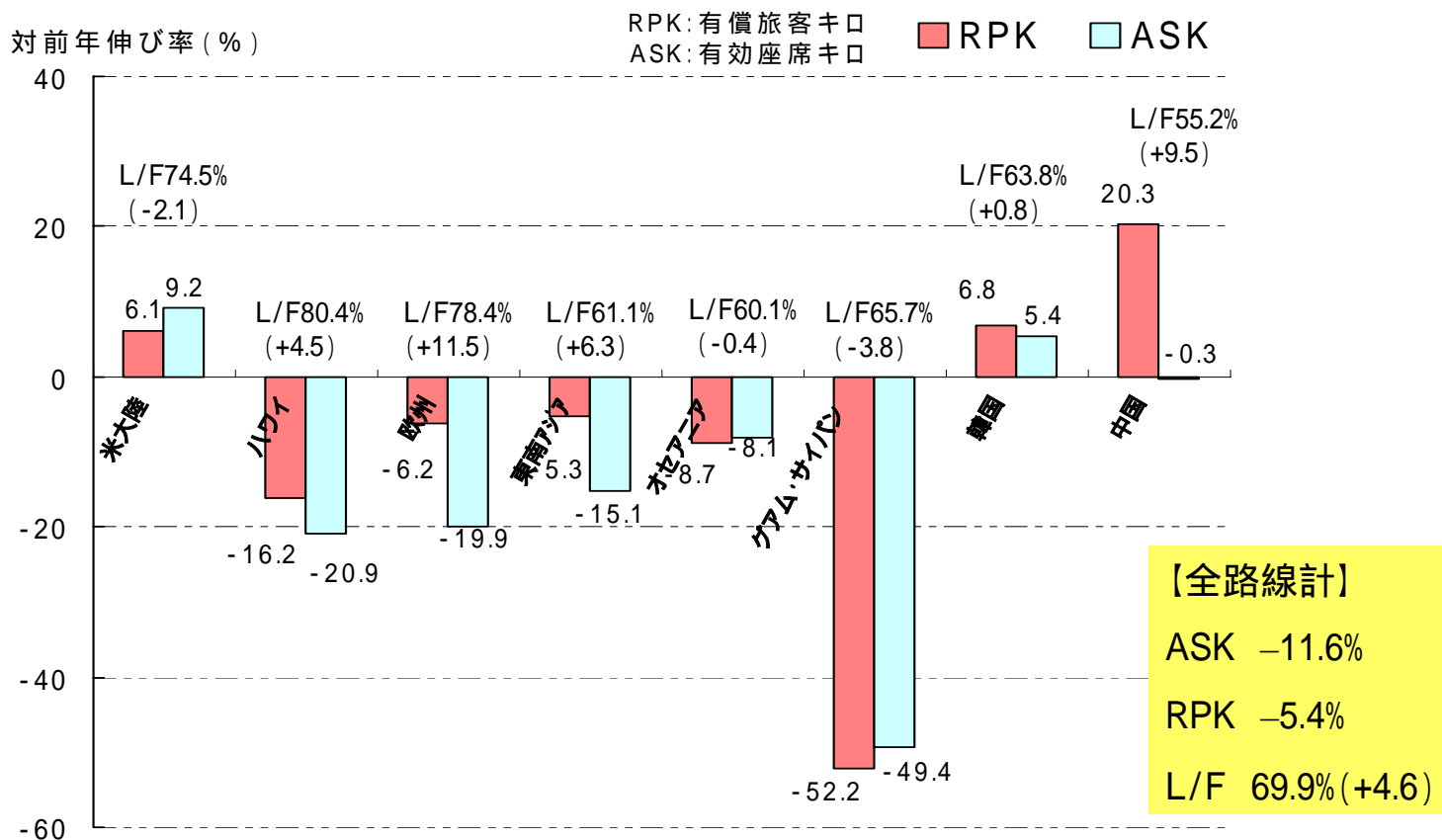
---

# 補足資料





# 国際旅客方面別需要・供給(前年比)



# 費用構造改革の進捗状況

(億円)

注：累計は2005年度からの累計額		Q1(実績)		Q2(見通し)		下期(見通し)		年間(見通し)	
		対前年	累計	対前年	累計	対前年	累計	対前年	累計
構造改革	人件費効率化	+15	85	+10	95	+35	130	+60	130
	低収益路線の改廃等	+12	42	+13	55	+80	135	+105	135
	グループ外契約・業務プロセス見直し	+30	190	+30	220	+60	280	+120	280
	e化推進等による販売コスト削減	+2	12	+8	20	+15	35	+25	35
	資産スリム化による有利子負債圧縮	0	0	0	0	+20	20	+20	20
	小計	+59	329	+61	390	+210	600	+330	600
緊急施策実績・見通し		+31		+39		+140		+210	

## 最近のトピックス

- 2006.Apr.19 : 安全啓発センター開設
- 2006.Jun.01 : AOCホールディングスとの業務提携及び資本参加
- 2006.Jun.04 : ワンワールド加盟調印
- 2006.Jul.05 : JTBとの業務提携発表
- 2006.Jul.13 : 日中航空交渉合意
- 2006.Jul.18 : AIR FLITE (G-FOS 機材最適化システム) 本格稼動開始

# 免責事項



本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本書面の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社日本航空に属します。



---

# Japan Airlines Corporation